



冬
 物俗可
 なる
 心
 の
 記

ホ 2
 26
 4止



文章假字用格卷四

青 あ あ	粟 あ い	愛 あ い
阿桑 あ あ <small>郷名</small>	阿拜 あ あ <small>郷名</small>	噫 あ い <small>飛彈</small>
襖 あ あ <small>衣</small>	饗 あ あ <small>遇待の意</small>	安房 あ あ <small>国名</small>
沫 あ あ	鱈 あ あ <small>魚</small>	阿波 あ あ <small>国名</small>

黄葉園藏

あ
安阿
二言

安部

文章假字用格卷之四

豊後

大藏永常著

轉々堂藏書

せ 四三 左	ひ 廿六 左	志 廿三 左	め 十九 右	そ 十九 右	わ 初 丁
す 四十七 右	も 四十 左	名 廿四 右	み 廿一 右	ゆ 十七 左	こ 六 左



栗田 <small>栗の田地</small>	并	喘息	白馬	惶急	價 <small>物の直段</small>	東國	濯	棟
あつふ	あつぱ	あへ <small>病</small>	あま	あき	あひ	あづま	あらふ	あふら <small>木</small>
摠 <small>木</small>	合 <small>あつせ</small>	聘 <small>相問の美</small>	青木	赤生 <small>信濃郷名</small>	射塚	梓 <small>木</small>	鸚鵡 <small>鳥</small>	障泥 <small>馬具</small>
あつぎ	あつせ	あへ <small>美</small>	あき	あか	あづら	あづら	あうむ	あうら
鰻 <small>貝</small>	不堪	主	碧海 <small>三河郡名</small>	與	小豆 <small>豆</small>	奥義	仰	
あつび	あかぬ	あへ <small>ド</small>	あき	あへ	あづき	あうぎ	あう	
給	敢	磁 <small>青磁</small>	青	直	洗	安居院 <small>氏</small>	搏	
あつせ	あへて	あき	あき	あひ	あらし	あぐわ	あぶ	

文章假字用格 卷四 ㊦

黄葉園藏

淡路 <small>国名</small>	秋鹿 <small>郡名</small>	肖 <small>今ゆかりの云同</small>	値 <small>時よみ</small>	鶯 <small>鳥</small>	央 <small>漢</small>	泡
あづら	あゆ	あえ	あふ	あう	あう	あこ
可憐	秋田 <small>郡名</small>	相	遇 <small>人よみ</small>	藍 <small>呉ハ</small>	櫻 <small>呉ハ</small>	罌 <small>呉ハ</small>
あわれ	あき	あひ	あふ	あお	あう	あう
栗津 <small>地名</small>	英多 <small>美作郡名</small>	押	合	鶯 <small>鳥</small>	奥	奥
あつ	あつ	あふ	あふ	あう	あう	あう
啞方	愛子	鴨	逢	鶯 <small>鳥</small>	盜 <small>呉ハ</small>	盜
あいう	あや	あふ	あふ	あう	あう	あう

三言

㊦ 二言 三言

三言四言

初

杖の名

あしこ

扇

あふぎ

會見

伯耆郡名

近江

国名

葵

草 あゆひ

雞距

雞のひづり あこえ

朝寢

あさねのこころ

貯

雜に支ふるはまへ

浅井

氏 あさね

麻生

氏 あさぶ

愛知

尾張郡名

脚帶

又あしひもといふ

網代

魚とくする具 あだろ

緒

あしと

間

又藤子もいふ鷹の具足革たてわり

簀

竹器

蓋草

草 あしお

平安

淡路郡名 あなろ

足羽

越前郡名

相圖

あひづ

會津

陸奥郡名 あひづ

相手

あひて

足羽

越前郡名

相圖

あひづ

四言

哀動

あはぶ

哀憐

あはえ

愛憎

あはぞう

藍緑

あいら

挨撥

あいら

愛執

あいら

梳齒魚

魚

畔放

田のあせとせら

壺

あひめ

味

あいらい

紫陽花

草

在原

地名

有様

あひやう

有體

あひてい

或者

あひい

青色

あせい

青鈍

あせび

青貝

あせび

螟蛉

虫

白馬

正月七日帝舎の時いふ神代紀に見えり産屋の具なり

陟釐

海州 あせり

青柳

氏 あせり

竹刀

あせり

阿伽桶

あがけ

周章

あしちやう

沫雪

あしゆき

白鹽

食

阿伽桶

あがけ

贖

あがふ

不能

あがは

扱

あが

賜

傍熟なり

詭

あつらひ

四阿

家 あつらひ

邊鄙

東人のまへと云

惡口

あつらひ

侮

あはづ

輕

今らまどろし云 あはづ

麻柱

造作の具

荒栲

布の古語

競

あそぶ

爭

あそぶと云

安東

氏

安穩

あん

文章假字用格卷四

黄葉園藏

鮫鯨 <small>わんごう魚</small>	庵室 <small>わんごう</small>	惡黨 <small>わんごう</small>	千歲藥 <small>あまつ草</small>	淺茅生 <small>あさぢう</small>	朝夕 <small>あさゆふ</small>	矇 <small>あまご</small>	足弱 <small>あしよわ</small>	相殿 <small>あひだ</small>
安泰 <small>あんたい</small>	櫻桃 <small>おうたう木</small>	惡僧 <small>わんそう</small>	雨乞 <small>あまごひ</small>	牽牛花 <small>あさごう草</small>	朝夷 <small>あさひま</small>	蹇 <small>あしづみ</small>	楚 <small>あしづみ</small>	相対 <small>あひたい</small>
安藤 <small>あんでう氏</small>	奥州 <small>あくしう国名</small>	惡業 <small>わんごふ</small>	刺 <small>あまご</small>	朝起 <small>あさおき</small>	愛甲 <small>あゐがら相模郡名</small>	楚 <small>あしづみ</small>	楚 <small>あしづみ</small>	相對 <small>あひたい</small>
案内 <small>あんない</small>	糞堆 <small>くそたい</small>	危 <small>あやうし</small>	潦水 <small>あまご</small>	朝津 <small>あさつ津越前郷名</small>	商 <small>あさご</small>	葦原 <small>あしはら</small>	亞相 <small>あしあひ大納言</small>	相嘗 <small>あひあひ公事</small>

わ 四言

三

姪 <small>あひむと</small>	絡繩 <small>あせがひ田引ともいふ云</small>	五言	飛鳥井 <small>あひたひ</small>	刺刀 <small>あひら</small>	相逢 <small>あひあひ</small>
愛敬 <small>あひこ</small>	會釋 <small>あひこ</small>	哀傷 <small>あひあ</small>	無情 <small>あひあ</small>	臍 <small>あひあ</small>	
赤風蛤 <small>あかかづ虫</small>	青和幣 <small>あせあが</small>	瀆柿 <small>あせが</small>	綠青吉 <small>あせが</small>	臍 <small>あひあ</small>	
妍哉 <small>あやま</small>	赤卒 <small>あせあ</small>	倭琴 <small>あせが</small>	豫 <small>あせが</small>	案外 <small>あせが</small>	
洗米 <small>あひま</small>	洗革 <small>あひま</small>	案外 <small>あせが</small>			

文章假字用格卷四(あ)

黄葉園藏

ひまさてふ けまつ をかる く せ せ ひ ち ちこふけ まく

飛鳥川 <small>あひのとりがき</small>	相性 <small>あひあそ</small>	相互 <small>あひたがひ</small>	驄馬 <small>あしづま 獸</small>	鼎 <small>あしづみ</small>	阿古筒 <small>あこのづり</small>	銀漢 <small>あまのがは</small>	漁童女 <small>あまてらめ</small>	芥川 <small>あくらがき 地名</small>
	汗巾 <small>あせぬぐい</small>	當面 <small>あひむま</small>	相叶 <small>あひうめ</small>	足揃 <small>あしぞろ</small>	嘲笑 <small>あざわら</small>	論 <small>あげつら</small>	蛙黽 <small>あまぐも 虫</small>	悪性 <small>あくあそ</small>
	反暇 <small>あせうら</small>	相詞 <small>あひことば</small>	相構 <small>あひうま</small>	蟬 <small>あしづみ 虫</small>	朝餉 <small>あさぐれい 天子の朝の供餉</small>	脂腸 <small>あぶらうら</small>	剩 <small>あまら</small>	螭龍 <small>あまつりゅう</small>

四言 五言

四

六言

阿房敷 <small>あほうら</small>	周章 <small>あしてさわ</small>	憶原 <small>あきさか 地名</small>	青侍 <small>あそごひめ 青ハ青年の意年若ク未熟なること</small>	東豎子 <small>あづまわら</small>	騰羽蝶 <small>あびのてし</small>	左右 <small>あささき</small>	朝食夕食 <small>あさゆめけ</small>	相構 <small>あひうま</small>
鴨綠江 <small>ありあれがは 朝鮮の川の名</small>	葵祭 <small>あひすつら 京師の賀茂祭といふ</small>	蒼生 <small>あそびとこ 民百姓のこと</small>	勝計 <small>あびてら</small>	三ツ子内とく代々同名を呼ぶこと古より例あり	癸祭 <small>あひすつら 京師の賀茂祭といふ</small>	相催 <small>あひあそ</small>	相催 <small>あひあそ</small>	文章假字用格卷四
青海原 <small>あせうら</small>	充行 <small>あてあそ</small>	天岩戸 <small>あまのいわと</small>	通草 <small>あひひら 草</small>	蒼生 <small>あそびとこ 民百姓のこと</small>	癸祭 <small>あひすつら 京師の賀茂祭といふ</small>	相催 <small>あひあそ</small>	相伴 <small>あひあそ</small>	黄葉園藏

七言

朝所

大政官ありとつて
あつんどころ

裕

あせのころも

青摺衣

山藍とすの衣とて小忌のころ
あつりのころぬ

明障子

あつり志中じ

鶯宿梅

あつま西くむい

天吉葛

あまのよさつ

海人拷繩

あまのたくむい

天磐船

あまのつらぬ

近江八景

あつとくつらひ

八言

白馬節會

あつとまのせらふ

正月七日に行ふ
禁中の公事あり

仰願

あつとねがふ

十一言

十八言

蟻通明神

あつとありのこちうとん 和泉の国あり

青出之藍而青於藍

あおあおよりあおあよりあや

左部

一言

さ

左佐差磋磋娑砂紗散射作社者草舍積柴霜

清音

謝坐座藏邪裝裝奢 濁音

二言

澤	妻	罪	最	財	在	祭
さい	さい	ざい	さい	さい	ざい	さい
多	賽	災	副	散子	棹	犀
さい	さい	さい	さい	さい	さい	さい
草	棹	齋	造	棹	齋	犀
さう	さい	さい	さい	さい	さい	さい

竿	曹	艘	蒼	壯	相	創	爭	鈔
さう	さう	さう	さう	さう	さう	さう	さう	さう
早	糟	棗	藏	狀	想	象	諍	巢
さう	さう	さう	さう	さう	さう	さう	さう	さう
草	粟	掃	桑	裝	霜	像	箒	雙
さう	さう	さう	さう	さう	さう	さう	さう	さう
造	操	倉	葬	牀	瘡	鎗	抄	窻
さう	さう	さう	さう	さう	さう	さう	さう	さう

文章假字用格卷四

黄葉園藏

く りむらあつた か わをと

文章假字用格卷四(三)	雙紙 さうし	臟腑 ざうふ	唱歌 さうか	權 <small>農具</small> けん	誘 さう	境 さう	躁 <small>上同ト</small> さう	座頭 ざとう	醜 さう
	草子 さうし	象牙 ざうげ	總嫁 さうけ	三衣 さんえ	授 <small>さうく</small> さう	逆 さう	酒井 <small>曲岸とあり</small> さうい	塀 <small>字書に抹と藏ありとあり</small> さう	
	藏主 ざうし	相馬 <small>地名</small> さうま	草履 さうり	暫時 <small>獵用と矢あり</small> ざんじ	獵矢 さうや	茶道 さうたう	榮 <small>さうめ</small> さう	騷 <small>安藝郡名</small> さう	佐伯 <small>安藝郡名</small> さう
黄葉園藏	作意 さうい	曹子 さうし	相違 さうい	掃除 さうじ	早苗 さうめ	砂糖 さうたう	塀 さう	鬧 さう	佐藤 <small>氏</small> さう

と い 去えふ

雑太 <small>備後郡名</small> ざう	座牌 ざまい	柴胡 <small>葉</small> さいこ	在位 ざいゐ	濟度 さいど	三言	颯 <small>英さう</small> さう	双 さう
早良 <small>筑前郡名</small> さう	座配 ざまい	際目 さいめ	細工 さいく	才智 さいち		才 さい	左右 さう
作法 さう	障 <small>さう</small> さう	祭祀 さい	最後 <small>天子後位</small> さいご	再祚 <small>天子後位</small> さいそ		匙 <small>五</small> さい	臟 ざう
澤食 <small>駿河郡名</small> さう	月水 さう	妻子 さい	最期 さいご	左右 さう			雜 ざう

二言 三言

七

三言四言

八

作事 さくじ

左様 さやう

下緒 さげ

作業 さげ

雜煮 ざしよ

雜賀 ざが 地名

雜作 ざさく

雜事 ざじ

雜穀 ざこく

亮 さくら

寒冷 さむ

小枝 さへ

小竹筒 さくえ

榮螺子 さくら 貝

差圖 さづ

棧敷 さく

茶園 さど

鮎 さひ 魚

些少 させう

椀 さく 盃の類

假殿 さげ

今さげさくさくハ
假殿の轉訛

四言

裁配 さいはい 指圖

幸福 さいふ

幸 さい

再拜 さいはい

采幣 さいはい 幣帛

財寶 さいほう

在番 さいばん

齋藤 さいとう 氏

菜桶 さいづく

妻女 さいによ

再往 さいわう

才覺 さいかく

在郷 さいかう

歲旦 さいたん

妻帶 さいたい 僧の

埼玉 さいま 武藏郡名

戲射 さいしや 小射桶

祭禮 さいらい

催促 さいそく

於桜 さいおう 器具

災難 さいなん

呵嘖 さいいん

罪 さい

再來 さいらい

才能 さいのう

罪科 さいか

三枝 さいし

際限 さいげん

才藝 さいげい

罪業 さいごう

再興 さいかう

最愛 さいあい

再々 さいさい

裁許 さいしよ

彩色 さいしき

在所 さいしよ

細辛 さいじん 薬

祭文 さいぶん

材木 さいぼく

最前 さいぜん

細少 さいせう

賽錢 さいせん

騷 さいわう

黄菜 さいやけ 菜

文章假字用格卷四(二)

黄葉園藏

をりへ

むらつか

訕 <small>五月擧めけし義</small>	五月女	牡鹿	盃	浚	三綱 <small>君臣父子夫婦</small>	殘黨	叅宮	讒言
轉	早處女	佐保姫	察答	三拜	殘肴	讒奏	殘花	三業 <small>耳口意</small>
遮	小男鹿	棹姫	早速	三方	算用	士	三昧	叅扣
座中	早鹿	酒煎	驍然 <small>老屈の姿</small>	三界	叅内	侍	叅詣	斬罪

う

ふま け

山椒	騷動	滄海	草堂	裝束	造營	草亭	草木	昨朝
爭論	瘡毒	象眼	葬禮	壯年	蒼天 <small>青天と云々同ト</small>	草案	窓前	昨夕
相人	相應	相談	相續	造化	早天	早々	狹井川 <small>大和あり</small>	吟
藏本	草稿	相當	葬送	創業	早朝	素麵	左官	伺候

文章假字用格卷四②

黄葉園藏

文章假字用格卷四(2)	さえ	ふく	う	むか	つ	かわ	る	り	つ	と	い	す	ひ	あ	み	め	き	さ
	寒返	探題	早春	森上	山歸來	三途川	雜掌	松蘿	道祖	在城	西行	西園寺	流離	差合	醒井	雀部	侍	
	ささへう	さくた	さうま	さんじ	さんき	さんづ	ざらま	らうせ	みちの	ざい	さい	さい	り	さあ	さあ	さ	侍坐の美	
	砂礫	雜行	鎗術	象頭山	山莊	叅會	五味	騷敷	遮而	宰相	罪障	近曾	刺鯖	三味線	支	雜巾		
	ざん	ざん	ざん	ざん	ざん	ざん	ざん	ざん	ざん	ざん	ざん	ざん	ざん	ざん	ざん	ざん	ざん	
	細石	雜兵	蒼迹	相承	下	殘興	三番叟	酒樂	去狀	蠅聲	最上	再會	鑄	差繩	座興	雜		
	さい	さい	さい	さい	さい	さい	さい	さい	さい	さい	さい	さい	さい	さい	さい	さい	さい	
	黄葉園藏																	

四言五言

十

黄葉園藏

② 五六七八言

十一

左義長

さぎさちやう

三毬打

さんぎちやう

正月十五日の式やう門松標繩とたくさう

差支

さしつゝ

差向

さしむらひ

差控

さしひら

六言

澤蘭

さいわん神

擲投間

ちやくたうま投ハ機の具

鰯鱈

いづつ鳥

七言

猿澤池

さるざいのけ南都あり

曹洞宗

そうとうしゆ

八言

三種神器

さんしゆのたみ

九言

三尺手拭

さんぢあてぬぐひ

文章假字用格卷四 ② 九言

十二

黄葉園藏

幾部

一言

言

幾支伎岐吉記紀枳企奇寄騎綺既棄巾鬼神

祇機基忌耆嶠清音藝疑擬宜義儀蟻濁音

二言

うねい

糺	休	久	貴意	朽	求	救	奇異	舅	九	窮	際	宮	咎	究	木地
同	同	吳	い	同	同	同	い	同	同	同	い	同	同	同	い
う	う	く	う	う	う	う	う	う	う	う	う	う	う	う	う

ふ

すあえ

と

ちとつかに

三言

白	牛	泣	消	疵	氣配	窮	勢	舊	鳩	汲	歸依	黃蘗	義兵	幾望	極	究	弓	急	笈	瑕	歸入	妓女
同	吳	い	い	い	い	い	い	同	吳	い	い	い	い	十	い	い	同	い	疵	い	い	い
う	う	う	う	う	う	う	う	う	う	う	う	う	う	う	う	う	う	う	う	う	う	う

文章假字用格卷四

黄葉園藏

え こふけ

文章假字用格卷四(き)

所聞 ところえ	給仕 きゅうし	景 同 きやう	刑 同 けい	竟 同 けい	敬 同 けい	饗 同 きやう	梗 同 けい	響 同 きやう
消 しょう	急死 きゅうし	競 同 けい	頃 同 けい	境 同 けい	驚 同 けい	莖 同 けい	薑 同 けい	狂 同 きやう
喜悅 きえつ	氣候 きこう	傾 同 けい	兄 同 けい	鏡 同 けい	慶 同 けい	京 漢 けい	仰 同 けい	行 同 けい
機縁 きえん	貴公 きこう	喜慶 きけい	經 同 けい	形 同 けい	輕 同 けい	卿 同 けい	香 同 けい	杏 同 けい

黄葉園藏

やのぬ うらつそれ 九 よかぬ

姜 呉 きやう	鳩尾 こまごめ 支那	弓馬 きうま	鉄 てつ	希代 きだい	恭 こう	俾因と冊の中は養 置とつうとく	著類 しやくるい
強 同 きやう	來居 きらい	旧地 きうち	擧 きよ	祈禱 きとう	凶 きやう	御衣 ぎい	疑惑 ぎあく
享 同 きやう	昨日 きのう	久離 きうり	築 きく	綺麗 きれい	器用 きよう	怒 いか	木綿 きわた
郷 同 きやう	甲 か	求肥 きうひ	嫌 きら	競 けい	針 はり	玉 たま	興 きよう
							柵養 さくやう

(き) 二言 三言

十三

よをぬ り ちを す せ 去 めさて

三言 四言

十四

四言

御遊	器量	几帳	葱帽子	祈誓	氣腫	忌明	歸朝
ぎよう	きりやう	きりやう	きりやう	きせい	きしゆ <small>病</small>	きめい	きてう
清原	剪疵	忌中	極	奇瑞	氣精	奇妙	奇才
きよはら	きりきず	きちゆう	きくま	きせいの	きせい	きせう	きせい
御盃	砧	吉瑞	議定	氣隨	氣勢	貴酬	器財
ぎまい	きねい	きらざる	ぎじやう	きずる	きせい	きしう	きざい
許容	祇園會	杠	毬打		義勢	季秋	貴命
きよう	ぎんぐわい	きん	きりやう		ぎせい	きしゆ <small>九月</small>	きめい

虚勞	龜甲	金鷄	近習	旧根	旧臘	糺明	麴塵	逆意
きよらう	きつがふ	きんけ <small>鳥</small>	きんじゆ	きんこん	きんろう	きんめい	きんじん	ぎぎ
凶事	吉川	吟詠	錦繡	旧冬	究屈	休日	天子の襲は御袍の色、 ひや黄蠟同ト	行義
きようじ	きんがふ <small>氏</small>	ぎんぎ	きんきう	きんとう	きんくつ	きんじつ	きんじ	ぎぎ
御制	吉慶	禁廷	禁制	宮女	旧功	弓箭	祈願	狂哥
ぎよせい	きりけい	きんてい	きんせい	きんじよ	きんこう	きんせん	きごん	きやう
氣遣	吉左右	金瘡	舊友	休講	旧惡	申子	菊水	驚怖
きつうい	きりさう	きんさう	きうゆう	きうかう	きうあく	きのこ	きくすわ	きやうふ

文章假字用格卷四 (き) 黄葉園藏

きふ やくのう ひらつ よし もゑ おと きえみ

京都 きやうと
刑部 官女 きやうぶ
行司 きやうじ
給人 きふじん

急用 きふよう
歸依僧 きふいそう
消失 きふせ
聞分 きふぶん

氣形 ききやう
桔梗 ききやう草
歸明 ききやう
躑躅 ききやう

起請 ききやう
氣象 ききやう
氣性 ききやう
胡藜 出 ききやう

肝煎 きんせん
五言

吉祥 きらぎやう
居住 きふじやう
恐悅 きふよう

興覺 ききやう
玉體 ききやう
曲水 ききやう

舉狀 きよぎやう
吉凶 ききやう
毬打 兒戯 ききやう

棄物 きいの具 きいもの
金打 誓約 きんちやう
金鳳花 きんりやうげ

宮中 きやうちやう
昨今 きのふけふ
菊綿 九月九日あり きくのわこ

向後 きやうこう
仰山 きやうさん
鯁骨 きやうこつ

形相 きやうさう
境界 きやうがい
行幸 きやうかう

行法 きやうぽう
行水 きやうすい
京極 京師の地名 きやうごく

兄弟 きやうだい
狂人 きやうじん
經藏 馬具 きやうざう

驚風 きやうふう
鏡臺 きやうたい
杏葉 馬具 きやうえつ

逆縁 きやうえん
客僧 きやうそう
急病 きふびやう

聞習 ききやう
聞合 ききやう
聞覺 ききやう

文章假字用格卷四

黄葉園藏

四言 五言

十五

岸和田 地名 きりた

五言六言

六言

凡帳面 きらやめ

鬼界嶋 きりがしま

恐惶

きりやうきやう

玉章 きりやうきやう

乞巧奠 きりやうきやう

金屏風 きりやうきやう

甲乙 きりやうきやう

麴塵色 きりやうきやう

祈願所 きりやうきやう

行狀 きりやうきやう

狂言師 きりやうきやう

經卷

きりやうきやう

羌活 きりやうきやう

聞繕 きりやうきやう

起請文 きりやうきやう

銘肝 きりやうきやう

今

きりやうきやう

八言

半天河 きりやうきやう

九死

一生 今倍ち一生といふ訛り

九言

行住坐臥 きりやうきやう

歸命頂禮

きりやうきやう

九牛一毛 きりやうきやう

きりやうきやう

十言

恐惶謹言 きりやうきやう

由部

一言

由

由遊游史庾愈踰踰

二言

融

ゆう

雄

ゆう

勇

ゆう

熊

ゆう

遺

ゆう

由井

ゆう

夕

ゆう

木綿

ゆう

故

ゆう

湯坐

ゆう

結

ゆう

三言

弭

ゆう

湯川

ゆう

讓

ゆう

由來

ゆう

勇士

ゆう

往方

ゆう

靱負

ゆう

夕

ゆう

結城

ゆう

四言

由緒

ゆう

交讓木

ゆう

弓勢

ゆう

勇剛

ゆう

融通

ゆう

勇猛

ゆう

遺訓

ゆう

遺物

ゆう

遺跡

ゆう

硫黃

ゆう

行末

ゆう

齋

ゆう

夕榮

ゆう

夕顏

ゆう

白雨

ゆう

太白星

ゆう

晡

ゆう

鞦韆

ゆう

往反

ゆう

行逢

ゆう

射

ゆう

弣

ゆう

弦

ゆう

文章假字用格卷四

黄葉園藏

二言 三言

十七

五言

勇猛

ゆうまう

木綿襪

もめんばき

夕月夜

ゆづつよ

夕涼

ゆふすず

油烟墨

ゆえんぼく

行違

ゆきちがひ

往還

ゆきまう

行向

ゆきむま

六言

讓與

ゆづらふ

木綿付鳥ゆづらぶ

免部

一言

めい

免米賣馬每梅昧迷謎面咩綿璫

二言

明

めい

名

めい

迷

めい

命

めい

鳴

めい

醜

めい

銘

めい

螟

めい

雌雄

めを

妙

めう

苗

めう

猫

めう

姪

めい

去みゆまうむか つを い

い

むつか

あ の う

去 むをい

め 二三四言

十九

名醫 めい い 冥途 めい と 冥府 めい ふ 幽悟 めい こ

妻夫 めと と 愛 めづ と 感 めづ と 瑪瑙 めがう

面話 めん と 藁荷 めう が 苗字 めう ト 眩暈 めまひ

目結 めゆ い 目見 めみ え 女鹿 めト 獣 盲 めまひ

瞽 めまひ

四言

明白 めい ちく 命日 めい ちち 鳴動 めい どう 迷惑 めい ちく

名香 めい ちく 名僧 めい ちく 酩酊 めい てい 迷暗 めい ちん

明細 めい さい 名人 めい じん 目醫者 めい しゃ 菴蔚 めい じ

桂 めい ぎ 滅亡 めい ぼう 希見 めい けん 面拜 めい ぱい

麵棒 めん ぼう 麪類 めん るい 面倒 めん ぼう 面謁 めん ぎやく

面體 めん てい 妙藥 めう やく 妙見 めう けん 妙典 めう けん

乳母 めの おと 眼前 めの まへ 妻 めの さい

五言

名將 めい ちやう 閉目 めい ちやく 兔狀 めん ちやう

面上 めん じやう 召仕 めい ちやく

六言

文章假字用格卷四の

黄葉園藏

滅法界 めつぽうがい 雌蝶雄蝶 めつてつてつ

八言

名所舊跡 めいしょきゅうせき

[Faint bleed-through text from the reverse side of the page]

美部

一言

美彌瀨未味尾微弭寐民

二言

三保 みやう

水脉 みやう

三輪 みやう 大和地名

水 みやう

稚 みやう

瑞 みやう

りのと稱美する古語なり

所見 みやう

三言

漂木 みやう 參河 みやう

目名

御臺 みやう

御堂 みやう

文章假字用格卷四

二十一 黄葉園藏

たかを

え つわを

つそ

つそ

つそ

つそ

つそ

三十 水神
罔象 水神
鐙靷 馬具
魴魴 水神

蛟 龍の属
鬢 鬢と同
未來 漢ハいふれ
水押

水屑 龍の属
宮地 氏
明 漢ハいふれ
冥 同

名 同
命 同
鳴 同
猛 吳つり

宮居 同
見舞 同
獼猴 同
操 同

水棹 破顔微笑としてふくと
汀 同
蚯蚓 同
微笑

四言

未曾有 同
滴器 同
自 同
蹠 同

湖 水鳥ふれ指間
瑞籬 同
水銀 同
密通

澆水囊 同
壬 同
密計 同
密契

見習 同
三膳 臧腑の類
見送 同
冥加

名字 同
命婦 同
身不肖 同
御影供 三月二十日

水兔 鳥
聾 同
短 同
未熟

五言

陸奥 国名
濔標 同
準繩 同
黄葉園藏

文章假字用格卷四 ㊦

黄葉園藏

水帳 みづぢやう 見繕 みづとろ 密會 みつごひ

瀧水囊 たきみづのふくろ 艾 あし 宮仕 みやつかし

明朝 みょうちゆう 冥助 みやうすけ 名代 なしろ

名聞 なもん 明王 みやうおう 明神 みやうじん

名目 なめ 名跡 なせき 名号 なごう

猛火 まうか 御教書 ごきやうしょ 御影堂 ごえいどう

六言

三十一字 さんじゅういちじ 御厨子所 ごぢうしよ 明後日 みょうごひ

明星 めいせい 逆耳 さかみみ

七言

三保松原 さんほしょうげん 講合 かうがう

驄馬 そうば

八言

明法博士 めいぽうはくし

志部

一言

志

志士仕之芝師四斯死旨指始信進新式試此

紫次叱司伺詞嗣侍詩思偲施純璽尸子矢資茲緇

清音時事辭

清濁 二音

自慈兒寺盡茸珥餌 濁音

二言

四夷

東夷 西戎 南蠻 北狄

鹽

車の床くびさや

潮

朝の

沙

志よ

榻

志あ

叙

志よ

皺

志こ

序

志よ

諸

志よ

如

志よ

恕

志よ

助

志よ

徐

志よ

汝

志よ

鋤

志よ

處

志よ

所

志よ

自他

志た

日

志つ

質

志つ

實

志つ

賤民

志つ

神

志ん

人

志ん

仁

志ん

甚

志ん

深

志む

迅

志ん

盡

志む

尋

志む

腎

志む

任

志む

刃

志む

燼

志む

受

志う

收

志う

脩

志う

授

志う

守

志う

秀

志う

聚

志う

修

志う

臭

志う

就

志う

柔

志う

愁

志う

文章假字用格卷四

黄葉園藏

をり	か	むい	ひ	ま
鞞 <small>馬具</small>	師走	四方	詩歌	衆 <small>漢音</small>
志ろで	志ろ	志ろ	志ろ	志ろ
潮干	十二月	芝居	弒	儒
志ろ	志ろ	志ろ	志ろ	志ろ
後 <small>おん</small>	葦 <small>おん</small>	寺法	鮠 <small>魚</small>	就 <small>春秋</small>
志ろ	志ろ	志ろ	志ろ	志ろ
枝折	醜	仕法	支配	鯨 <small>小兒の陸と云</small>
志ろ	志ろ	志ろ	志ろ	志ろ

文章假字用格卷四

黄葉園藏

三言

二言

二十四

也	きえ	ふ	や
壽	紫衣	汁	入
志ろ	志ろ	志ろ	志ろ
需	辭宣	輯	蛇
志ろ	志ろ	志ろ	志ろ
授	食	執	習
志ろ	志ろ	志ろ	志ろ
聚	飾	澁	集
志ろ	志ろ	志ろ	志ろ

唐土の世の名

わ

紫苑

あしん

雌黄

あき

仕分

あき

所業

あき

業

あき

習俗

あき

悟

あき

鄙吝

あき

自害

あき

死骸

あき

試毫

あき

寺号

あき

四皓

四人の賢人あき

不若

不及といふ意あき

昇

あき

稱

あき

乘

あき

訟

あき

勝

あき

證

あき

承

あき

私用

あき

蒸

あき

從

あき

丞

あき

誦

あき

鐘

あき

種

あき

升

あき

松

木あき

辱

あき

諸事

あき

辭退

あき

次第

あき

時代

あき

支體

あき

前夫

あき

自答

あき

慕

あき

下樋

あき

實意

あき

倭文

青筋の布あき

寂然

あき

閑靜

あき

沈

あき

雫

あき

滴

あき

實夫

あき

下枝

あき

神祇

あき

神事

あき

舅

あき

秀句

あき

寺院

あき

仕落

あき

慈恩

あき

師恩

あき

四恩

あき

天地 國王 父母 師

仕置

あき

自画

あき

四花

あき

四隅

允異坤乾あき

上

あき

常

あき

尚

あき

詳

あき

唱

あき

昌

あき

章

あき

商

あき

餉

あき

文章假字用格卷四

黄葉園藏

二言 三言

二十五

時候	十夜	自慢	鶻	寂	状	正	品	省
志ころ	志ころ	志まん	志やく	志やく	志ちう	志ちう	志ちう	志ちう
至要	集會	師教	釋	若	像	牀	星	聲
志え	志あひ	志け	志やく	志やく	志ちう	志ちう	志ちう	志ちう
枝葉	譖	自業	邪魔	弱	象	装	猩	聖
志え	志ご	志げ	志やま	志やく	志ちう	志ちう	志ちう	志ちう
時疫	伺候	拾遺	鷓津	雀	相	莊	醒	青
志え	志ころ	志あひ	志まつ	志やく	志ちう	志ちう	志ちう	志ちう

盛	征	請	清	諍	菖	樟	觴	漿
志ちう	志ちう	志ちう	志ちう	志ちう	志ちう	志ちう	志ちう	志ちう
淨	鉦	性	情	箏	娼	讓	城	醬
志ちう	志ちう	志ちう	志ちう	志ちう	志ちう	志ちう	志ちう	志ちう
靜	成	姓	精	生	釀	障	將	掌
志ちう	志ちう	志ちう	志ちう	志ちう	志ちう	志ちう	志ちう	志ちう
井	誠	政	晴	笙	爭	壤	匠	傷
志ちう	志ちう	志ちう	志ちう	志ちう	志ちう	志ちう	志ちう	志ちう

志三言

二十六

よか	り	ねをろ	す	せ	ひ	あみめ	ゆき	さあ
諸方	私領	鹽尻	鹽濱	白妙	時節	縮	述	慈愛
あよろう	あやちう	あやふり <small>伊勢物語の詞</small>	あやぢま	あろえ	あせら	あぢむ	あゆつ	ああい
所用	寺領	後手	鹽竈	素人	自水	四神	術	子細
あよろう	あやちう	あろて	あやぢま	あろと	あすめ	あしん	あゆつ	あさい
所帶	死靈	鞆	鹽斷	柴戸	辭世	師命	春	自在
あよたひ	あやちう	あろて <small>馬具</small>	あやぢら	あいのと	あせい	あめい	あゆん	あざい
所勞	似我蜂	思量	潮	欵嗽	四姓	自身	順	死罪
あよろう	あがらち <small>虫</small>	あやちう	あやぢら	あいぶき	あせい	あしん	あゆん	あざい

四言

三言

二十七

文章假字用格卷四

黄葉園藏

承知 まうら 稱美 まうび 證據 まうこ 勝負 まうぶ

乘馬 まうま 升麻 まうま薬 松露 まうろ 觸穢 まうく忌げんのこ

所望 まうまう 助言 まうごん 諸侯 まうこう 助成 まうせい

諸生 まうせい 從順 まうじゆん 倭文機 まうぶん機 執柄 まうへい

竹篋 まうけい 倭文幣 まうぶん倭文の布 悉皆 まうけい 失禮 まうれい

失墜 まうつお 失念 まうねん 實體 まうてい 執政 まうせい

品川 まうがわ地名 白糸 まういと 白魚 まうい魚 辛抱 まうぼう

新法 まうぽう 進入 まうしゆ 震動 まうどう 進藤 まうとう氏

親類 まうるい 親王 まうおう 深更 まうかう 信仰 まうかう

新海 まうかい 神靈 まうせい 神通 まうとう 心痛 まうかう

辛勞 まうらう 神農 まうのう 深恩 まうおん 人口 まうこう

津液 まうえき 心底 まうてい 新造 まうぞう 神明 まうめい

深遠 まうえん 仁政 まうせい 晨鐘 まうしゆ 秀逸 まうい

姑 まうこ 醜女 まうけいきさ 秋月 まうげつ 邪淫 まうえん

麝香 まうかう香具 謝禮 まうらい 社僧 まうしゆ 上古 まうこ

正意 まうい 上意 まうい 上手 まうじゆ 賞味 まうみ

唱歌 まうか 章雅 まうがの 生 まうせい 正味 まうみ

淨衣 まうえ 正路 まうろ 生死 まうじ 障碍 まうがい

文章假字用格卷四 文章假字用格卷四 黄葉園藏 黄葉園藏

むらか つれ

莊司 あぢらじ 莊屋 あぢら 淨土 あぢらど 鉦鼓 あぢらこ

承壺 あぢらご 鉢机 あぢらぎ 障子 あぢらじ 將棊 あぢらぎ

菖蒲 あぢらぶ 舍弟 あぢらてい 邪執 あぢらま 嶋臺 あぢらだい

什寶 あぢらぶ 十二支 あぢらじふ 稗 あぢらひ 什物 あぢらぶつ

仕合 あぢらあは 食籠 あぢらご 式法 あぢらぽう 敷革 あぢらこが

敷栲 あぢらたへ 式臺 あぢらだい 式禮 あぢららい

自行 あぢらぎやう 朱印 あぢらしん 鐘樓 あぢらろう

種類 あぢらるる 趣向 あぢらそう 受戒 あぢらご 儒道 あぢらどう

入内 あぢらだい 衆寮 あぢらしやう 受納 あぢらご 祝詞 あぢらこ

終夜 あぢらや 宗旨 あぢらじ 宗意 あぢらうい 戎衣 あぢらうい

宿意 あぢらうい 儒教 あぢらう 酒宴 あぢらえん 注連繩 あぢらわい

膝 あぢらひざ 穴喰 あぢらひ 師匠 あぢらぢやう 縮 あぢらぢやう

接連 あぢらぢやう 鹿笛 あぢらふえ 始終 あぢらぢやう 侍從 あぢらぢやう

椎茸 あぢらひたひ 下總 あぢらしやう

五言

鹹 あぢらし 潮満瓊 あぢらしやう 産 あぢらぢやう

而 あぢらし 所領 あぢらしやう 承引 あぢらしやう

稱嘆 あぢらしやう 昇進 あぢらしやう 證人 あぢらしやう

文章假字用格卷四

黄葉園藏

四言 五言

三十

燭臺

あぶくたい器

所願

あよごらん

叙爵

あよまぢ

従五位下叙す

祠堂金

あぶらぎん

實正

あつまぢ

實性

あつまぢ

真鍮

あんちぢう

腎臟

あんのぢう

心外

あんごうい

尋常

あんぢぢ

身上

あんなまぢ

舟中

あうちぢう

周章

あうまぢ

愁傷

あうまぢ

柔弱

あうまぢ

忍戀

あのおこひ

忍緒

あのおびのて曹のひ

舍利塔

あやしたふ

情斷

あぢぢん

生害

あぢぢがい

生涯

あぢぢがい

生育

あぢぢうく

正體

あぢぢたい

正直

あぢぢぢき

祥月

あぢぢつき

精進

あぢぢどん

上納

あぢぢあふ

請待

あぢぢたい人まよひ

正明

あぢぢあひ

相伴

あぢぢあひ

賞罰

あぢぢあひ

商賣

あぢぢあひ

將軍

あぢぢあひ

醬油

あぢぢあひ

相國

あぢぢあひ大政大臣の唐名

上人

あぢぢあひ

上臈

あぢぢあひ

上卿

あぢぢあひ

上段

あぢぢあひ

上元

あぢぢあひ正月十五日

城内

あぢぢあひ

唱門師

あぢぢあひ朝家の役名

相公

あぢぢあひ

壯巖

あぢぢあひ

聖教

あぢぢあひ

莊園

あぢぢあひ

淨瑠璃

あぢぢあひ

消渴

あぢぢあひ病

傷寒

あぢぢあひ病

樟腦

あぢぢあひ薬

借用

あぢぢあひ

釋教

あぢぢあひ

若輩

あぢぢあひ

文章假字用格卷四

黄葉園藏

石橋 あしはし 執著 あしやく 執行 あしぎやう

自今以後 おんご 受領 あうりやう 順風 あうふう

順道 あうだう 順禮 あうらい 祝言 あうげん

主恩 あうおん 主命 あうめい 從者 あうしや

熟縁 あうくゑん 宿業 あうくごふ 宿坊 あうくぼう

入興 あうきやう 修行 あうぎやう 酒狂 あうきやう

壽命 あうめい 殊勝 あうじやう 衆生 あうじやう

自身番 あうじんぱん 四十雀 あうしじやく鳥 醢 あうびや

下仕 あしもづら 鳥 醢 あうびや

五言

三十一

六言

潮之八百重 あしやちのやち 端出之繩 あしだしづな上同ト 稱名 あしなう

證明 あしやうめい 食傷 あしやうきやう 次第不同 あしだいにちやう

悉皆人 あしやちじん 白木綿花 あしきわたな 神今食 あしんごんじき

白拍子 あしびし 真如堂 あしにまどう京都あり 神今食 あしんごんじき

秋海棠 あきあひらぎ 賞翫 あしやうくわん 神泉苑 あしせんえん京都あり

常住 あしやうぢやう 情強 あしやうじやう 清淨 あしやうじやう

聖靈 あしやうりやう 聖護院 あしやうごいん 城郭 あしやうじやう

文章假字用格卷四

黄葉園藏

六月十一日禁中にて
行つて公事あり

猩

あやうしぐ

菖蒲革

あやうぶく

石塔寺

あやうたす

錫杖

あやうぢう

釋名

あやうぢう

紫摩黄金

あまねん

十二單

あつよひと

自業自得

死出田長

あでのたさ

鴨立澤

あぎたつさ

西行法師の詠哥

入木堂

あやがたう

述懐

あつこころ

順熟

あやうぢく

循環

あやうせん

春興

あやうきう

主従

あやうしぐ

修驗道

あやげんどう

自問自答

あひんごう

七言

鹽竈櫻

あやぐまざう

鹽土老翁

あやづのをらう

鹽尻嶺

あやぶりのたけ

倭文手纏

あづのてまき

白塗鈴

あはりのすず

真行草

文字

あまごうさう

神璽寶劔

あまのたけ

舅姑

あうごうめ

精進物

あやうじんもの

青蓮院

あやうまんわん

將軍塚

京師東山あり

あやうぐんづら

時候相應

あうごうわう

時刻到來

あうくわうらい

儒釋道

こんと三教と云

あやまやくたう

四神相應

あうしんごう

八言

仁義禮智信

あんぎまいつらう

士農工商

あうごうあやう

文章假字用格卷四

黄葉園藏

のむ

あや

こ

やう

むらつ

や

も

あきてこふま

聖德太子

あやうとくたい人名

七八九十三言

三十三

九言

神功皇后

あんどうこうこう人名

盛者必衰

あやうとくやひつする

積善餘慶

あやせんのよけい

十言 十三言

諸願成就

あよごらんあやうとく

霍亂

ありようらん病名

交朱者赤

あゆまどりのあか

惠部

一言

惠

惠衛田隈穢會繪音咲餌訓

二言

衛

あゐ

餌

あを

穢土

あど

犬

あぬ

鑄

ある

彫

ある

穢多

あた

越蘇

あそ能登 郷名

繪圖

あづ

越

あつ唐土の国名

圓

あん

洲

あん

苑

あん吳人

園

あん同

宛

あん同

遠

あん同

猿

あん同

鴛

あん同

焰

あん

炎

あん

文章假字用格卷四

三十四 黄葉園藏

むつたるぬとい

二言 三言

三十四

繪馬 えま

醉 えい

會座 えざ

笑 えい

黃精 えいせい

衛士 えいし

二言

槐 えい

屠兒 えい

惠投 えい

會得 えい

回向 えいこう

笑顏 えいげん

畫 えい

嘔 えい

喉 えい

豕 えい

悅噓 えい

遠路 えんろ

圓座 えんざ

豕 えい

壓 えい

殖粟 えい

醜 えい

噓 えい

繪像 えい

餌食 えい

四言

繪所 えい

越前 えい

越王 えい

遠方 えんぽう

援兵 えんぺい

豌豆 えんとう

遠慮 えんりょ

遠行 えんこう

遠嶋 えんじま

猿猴 えんこう

淵底 えんてい

鴛鴦 えんおう

圓融 えんりゆう

遠州 えんしゅう

轅門 えんもん

莢芋 えいご

餌袋 えいぶくろ

女蔵 めくら

會釋 えいしやく

會上 えいじやう

醉臥 えいび

醉醒 えいせい

五言

文章假字用格卷四

黄葉園藏

衛我河

ゑがの河内地名

餌香市

ゑがの播磨地名

越中

ゑちゅう国名

垣丁座

ゑんじょう

源氏物語見

援回

ゑんかい

遠境

ゑんきやう

圓寂

ゑんじやく僧の死と云

醉狂

ゑいきやう

六言

狗尾艸

ゑぬの艸

入咲壺

ゑさきう

含笑

ゑまきやう

惠心僧都人名

衛士焼火

ゑしやう

七言

會者定離

ゑしやうぢやうり

八言

越王勾踐

ゑつこうせん人名

四五六七言

三十五

ふ えおを りむい

つと たよ かを りら と と ろい

比部

一言

ひヒ

比妣非悲斐飛必祕彼被肥身婢賓嬪辟避譬

臂費

清音 毗

二音 濁

備鼻眉媚寐弭 濁音

二言

微意

ひい

肘

ひら支麻

脾胃

ひぬ

祕事

ひト

琵琶

ひと

肱

ひら同

比叡

ひえ山の名

非時

ひト

枇杷

ひと果

臂

ひら同

裊

ひえ

僧家昼後の食ざらふ

濕

ひらひつ

氷魚

ひと小魚

冷

ひえひえ

三言

秀

ひいづ

披露

ひろう

誹謗

ひらう

單

ひと

非類

ひろみ

披講

ひう

頓丘小高と丘

ひと

非禮

ひま

氷池

ひいけ氷室と池

披

ひろ拾同

祕方

ひらう

美童

びどう

悲洩

ひろみ

美肴

びう

非道

ひたう

美麗

ひま

顛負

ひつと

拾

ひろひろ

偏

ひと

美女

びらよ

火桶火鉢

ひとけ火鉢のたき

日僱

ひらう

額

ひら支体

筆意

ひつ

尾籠

びらう

檜皮

ひらひら

一重

ひら

比類

ひろみ

控

ひら

氷

ひらう

蔽髮容飾の具

ひら

櫓

ひつら

文章假字用格卷四 ①

黄葉園藏

ひ 二言

三十六

文章假字用格卷四	病苦 <small>びやうく</small>	日覆 <small>ひねわい</small>	貧乏 <small>びんぼう</small>	筆頭 <small>ひつとう</small>	火威 <small>ひゑい</small> <small>鎧<small>よろい</small></small>	大方 <small>ひらう</small> <small>氏</small>	十入 <small>ひとや</small>	人前 <small>ひとまへ</small>	曾祖母 <small>ひいばあ</small>
①	兵庫 <small>ひやうご</small> <small>摂津地名</small>	曾祖父 <small>ひいぢぢ</small>	貧道 <small>ひんどう</small> <small>僧の自称</small>	筆耕 <small>ひつこう</small>	緋威 <small>ひゑい</small>	土形 <small>ひらかた</small> <small>遠江郷名</small>	十屯 <small>ひととん</small> <small>綿の量</small>	十曲 <small>ひとまげ</small>	偏 <small>ひん</small>
	屏風 <small>びやうぶ</small>	被官 <small>ひくわん</small>	貧窮 <small>ひんきやう</small>	引添 <small>ひつそい</small>	鎧 <small>よろい</small> <small>紅糸<small>こうし</small>を<small>ま</small>る</small>	釧 <small>ひらやまき</small> <small>臂巻<small>うでまき</small></small>	一筋 <small>ひとすぢ</small>	一聲 <small>ひとこゑ</small>	一折 <small>ひとまじり</small>
黄葉園藏	白衣 <small>びやくい</small>	拍子 <small>ひやくし</small>	脾胃虚 <small>ひゑきよ</small>	平岡 <small>ひらおか</small> <small>氏</small>	螭 <small>ひし</small> <small>虫</small>	鼓子花 <small>ひらごがや</small> <small>草</small>	泥 <small>ひどろこ</small>	一棹 <small>ひとさざ</small>	連抱 <small>ひつこ</small>

四言	微笑 <small>ひせう</small>	鹿尾菜 <small>ひどろこ</small> <small>海藻</small>	姫路 <small>ひめぢ</small> <small>地名</small>	悲哀 <small>ひあひ</small>	非業 <small>ひごふ</small>	日置 <small>ひおき</small>	疲勞 <small>ひらう</small>	稻のあつらふ <small>いねのあつらふ</small> <small>生<small>なま</small>む<small>ら</small>ふ</small>
		蛾 <small>ひる</small> <small>虫</small>	醬 <small>ひしや</small>	日閒 <small>ひあひ</small>	杪 <small>ひこえ</small> <small>細<small>こ</small>枝<small>え</small></small>	日覆 <small>ひあひ</small>	日向 <small>ひむか</small> <small>国名</small>	蹄 <small>ひづめ</small> <small>足<small>あし</small>瓜<small>うり</small></small>
		雛 <small>ひな</small> <small>鳥<small>とり</small>の子<small>こ</small></small>	聖 <small>ひぎり</small>	秘藏 <small>ひごう</small>	失聲 <small>ひごゑ</small>	病 <small>びやう</small>	乾魚 <small>ひうと</small>	羊 <small>ひつと</small> <small>獸</small>
		微妙 <small>びせう</small>	美人 <small>びどん</small>	率 <small>ひさゑ</small>	披閱 <small>ひえつ</small>	秘計 <small>ひけい</small>	丙 <small>ひのえ</small>	火繩 <small>ひまひ</small>

三言

三十七

四言

三十八

百會 ひやうゑ

蘗 いこづえ

樹の斬りし復生

鴨 ひえんどり鳥

檜扇 ひのあご

引替 ひきか

引負 ひきおひ

衿帯 ひさおひ小帯

比興 ひきあう今基の聖目

昇怯 ひきあう懦弱の美

飛行 ひぎやう

聖目 ひどうめ

今基の聖目

非常 ひぎやう

杜谷樹 ひらぎ

五言

琵琶法師 ひびやうし

檜皮茸 ひびぎやう

琵琶湖 ひびやうのうみ近江の湖

十重艸 ひとむぐさ桔梗

副車 ひとたまたま後乗

一番 ひとつうひ

十廻 ひとまわり

十箇 ひとこま

十抄 ひとすぢひ

飛龍頭 ひりゅうづ龍の頭

翻 ひるがへ

無比類 ひるおろし

氷壯 ひようさう

左社 ひだりやま

必定 ひつぢやう

備中 びつちゆう国名

畢竟 ひつきやう

白鮮 ひつとく艸

栞郎子 びんらうし職名

晝御座 ひのあま

白鮮 ひつとく禁中清涼殿ありて天子の御座所なり

非藏人 ひくらうじん

平等 ひやうどう

平仄 ひやうそく

兵法 ひやうほう

兵糧 ひやうらう

病人 ひやうめん

病體 びやうたい

病腦 びやうのう病のやま

白毫 びやうごう

佛の相好の眉間 白毫と云

白蓋 びやうがい佛具

白象 びやうざう

百艸 ひやうさう

紛拏 ひこづらう

今借の友と云

比叡山 ひえいざん

膝鎧 ひざよろひ

墓 ひさかぢ虫

文章假字用格卷四

黄葉園藏

引合

紙の名

ひきあわせ

美人艸

びじんそう

六言

太白神

星の名

ひとひめり

費長房

仙人の名

ひらちゆうぼう

痿痺

ひびやび 病

光栢

ひくろう

氷鏡

ひようきやう

羅鬘

ひらげ 祭具

鴨越

ひよどり 摂津地名

日入國

ひのりくに 唐の国

定額

ひていごめ

敷定まうらるる人の通称

評定

ひやうぢやう

百官

ひやうくわん

日之少宮 大臣以下公卿をよぶ

ひのせうみやう

百姓

ひやくしやう

膝髑

ひざね 骨

鯉魚

ひり 魚

籬遊

ひさあそび

七言

氷池祭

ひつひのまつり

氷のあね年ハ凶年あるをりてのりまつるなり

平等院

びやうどういん 寺名

兵法者

ひやうていしや

百日紅

ひやくにっこう 木

飛行自在

ひやうじざい

八言

緋威鎧

ひびきのよろい

細辛

ひまのひび 艸

毛部

一言

毛

毛母門問聞悶文目物勿茂忘蒙謀望墓暮慕

摸謨木莽牟儻

二言

鏡

鑽り 鏡り

蒙

漢り 蒙り

朦

同 朦り

然

然り

萌

草木の芽生り

盃

盃り

鴟

鴟り

三言

基

基り

用

用り

餅

餅り

帽額

帽額り

悶

悶り

甕

甕り

水雲

水雲り

貫

貫り

囉

囉り

睛

睛り

蒙霧

蒙霧り

蒙古

蒙古り

摸樣

摸樣り

舫

舫り

萌黃

萌黃り

黃葉

黃葉り

四言

物理

物理り

廻

廻り

旋子

旋子り

鬢

鬢り

用

用り

盛岡

盛岡り

森川

森川り

催

催り

木香

木香り

勿體

勿體り

木瓜

木瓜り

盛相

盛相り

門流

門流り

問答

問答り

桃生

桃生り

文盲

文盲り

文章假字用格卷四 ④

黃葉園藏

かちと ちえら ちえら ちえら ちえら ちえら ちえら ちえら ちえら ちえら

もえくう

のね

もまみ

三四五言

四十一

門葉 りんふ 門弟 りんてい 文才 りんさい 門人 りんじん

蒙昧 りんまい 妄執 りんしやく 朦朧 りんりやく 木像 りんざう

木犀 りんせい 目禮 りんらい 燼 りんじん 桃井 りんけい

桃尾 りんび 氏りんのて 禮 りんらい 燼 りんじん 桃井 りんけい

五言

蛻 りんけい 物忘 りんぼう 物思 りんし

物狂 りんぐわい 癲狂 りんぐわい 乞丐 りんけい

綵色傘 りんしきさん 文司關 りんしけん 藻鹽艸 りんえんそう

百傳 りんひやくでん 文司關 りんしけん 藻鹽艸 りんえんそう

六言

持扱 りんぢやく 無勿體 りんむつたい 門徒宗 りんとそう

八言

主水司 りんしすいし 官名

文章假字用格卷四 六言 八言

四十二 黄葉園藏

世部

一言

世

世勢齊劑制西栖細
清音 是筮噬
濁音

二言

聖

せい

清

せい

政

せい

正

せい

成

せい

盛

せい

誠

せい

生

せい

姓

せい

制

せい

勢

せい

靜

せい

誓

せい

征

せい

贅

せい

青

せい

西

せい

星

せい

製

せい

井

せい

精

精

せい

世話

せい

照

せい

抄

せい

鈔

同

せう

詔

吳

抄

せう

少

同

せう

小

同

せう

漢

抄

笑

同

せう

肖

同

せう

宵

同

せう

瀟

同

せう

嘯

同

せう

蕭

同

せう

紹

吳

抄

せう

燒

同

せう

消

同

せう

蕉

同

せう

椒

同

せう

樵

同

せう

梢

漢

抄

せう

硝

同

せう

接

同

せう

少

輔

せう

妾

せう

世事

せう

三言

精氣

せい

誓紙

せい

制詞

せい

歳尾

せい

文章假字用格卷四

黄葉園藏

むれけひかて

う

去れの

い

い

つわにえ

世二言 三言 四言

四十三

制人 せいのひと

約 やく

世界 せかい

褌 はかま

世帯 せたい

施料 せりょう

宣旨 せんし

少貳 せうじ

善事 ぜんじ

禪師 ぜんし

小兒 せうじ

少貳 せうじ

兄 せうと

少微 せうび

小豆 せうぶ

小事 せうじ

笑止 せうし

妹尾 せいのび

背負 せおひ

施食 せじき

四言

城樓 せいらう

蒸籠 せいらう

製法 せいほう

成敗 せいばい

征罰 せいばつ

征伐 せいばつ

青銅 せいどう

聖人 せいじん

精好 せいこう

制戒 せいけい

政道 せいだう

征討 せいたう

聖堂 せいどう

清僧 せいそう

精落 せいらく

誓約 せいやく

青陽 せいやう

清渌 せいりく

精液 せいりやく

晴天 せいてん

星鳥 せいちょう

星霜 せいそう

製劑 せいざい

制札 せいさつ

逝去 せいしよ

姓名 せいめい

誓書 せいしょ

精質 せいしつ

靜謐 せいひつ

誓文 せいぶん

盛衰 せいすい

世話敷 せわしき

鎚 せいづ

世話役 せわやく

雪洞 せつどう

雪隱 せついん

絶入 せつにふ

舌頭 せつとう

雪洞 せつどう

殺害 せつがい

竊盜 せつたう

絶體 せつたい

攝待 せつたい

說教 せつけう

文章假字用格卷四

黄葉園藏

絶命	せつめい	雪舟	せつしゆ <small>人名</small>	善因	ぜんいん	煎法	せんぽう
先輩	せんぱい	前表	ぜんひょう	煎餅	せんべい	仙洞	せんどう
船頭	せんとう	先王	せんおう	先考 <small>せんこう</small>	せんこう	線香	せんかう
全體	ぜんたい	前代	ぜんたい	仙臺 <small>せんたい</small> <small>地名</small>	せんたい	煎湯	せんとう
錢湯	せんとう	先例	せんれい	先納	せんなう	遷宮	せんぐう
洗米	せんまい	善業	ぜんごふ	前業	ぜんごふ	戰巧	せんかう
專要	せんごう	先帝	せんてい	先哲	せんてつ	千歳	せんざい
善哉	ぜんざい	川芎	せんきう <small>薬</small>	前日	ぜんじつ	千秋	せんしゅう
前宵	ぜんしゅう	先生	せんせい	全盛	ぜんせい	泉水	せんすい

㊦ 四言

四十四

善導	ぜんどう	鈔録	せうろく	小便	せうべん
瘡瘍	せうろう <small>病</small>	消息	せうそく	少年	せうねん
昭覽	せうらん	燒亡	せうぼう	逍遙	せうぎょう
消産	せうさん	消滅	せうめつ	詔書	せうしよ
消失	せうしつ	樵者 <small>せうしや</small>	せうしや	少く	せうこく
石塔	せきたふ	寂寥	せきりやう	夕陽	せきやう
蟬折 <small>せみのおり</small>	せみのおり	軟障 <small>せんにやう</small>	せんにやう	施行	せきぎやう

五言

精出	せいしゅつ	成長	せいぢやう	省畧	せいりやく
----	-------	----	-------	----	-------

文章假字用格卷四 ㊦

黄葉園藏

勢揃 せいそく 誠惶 せいこう 誓願 せいがん

星會 せいぐわい 誠恐 せいこう 西戎 せいじゆ

精兵 せいひやう 絶頂 せつてい 攝政 せつてい

殺生 せつじやう 禪定 ぜんぢやう 戰場 せんぢやう

全快 ぜんくわい 仙境 せんけい 泉涌寺 せんゆうじ

宣命 せんめい 宣旨と文より作り せんしゆとぶんより作り 前生 ぜんじやう

小腸 せうじやう 少納言 せうなごん 簫笛 せうふえ

韶光 せうくわう 少將 せうしやう 小春 せうしゆ

石菖 せきしやう 責使 せきし 責使 せきし

六言

誓願寺 せいがんじ 芥生里 せうじやう 説經師 せつけいし

善光寺 ぜんくわうじ 千疊敷 せんじやうしき 千載集 せんざいしゆ

千秋樂 せんしゆらく 前裁合 ぜんざいあひせ 關清水 せんしゆみづ

攻戰 せうせん 攻戰 せうせん 攻戰 せうせん

七言

清涼殿 せいりやうでん 誓文拂 せいぶんふき

仙洞御所 せんどうごしょ 前代未聞 ぜんたいみもん

焦熱地獄 せうねつぢやく

文章假字用格卷四

八言 九言

征夷將軍 せんいしやうぐん 千變万化 せんべんをんご

千差万別 せんしやまんべつ

清淨潔白 せいじやうけつぱく

須部

如田一言

須ス 須春周主取素數州秀珠殊輸酒葛 清音 受授

儒孺聚 濁音

二言

諏訪 す 信濃 郷名

衰 すぬ

推 すぬ

髓 骨の すぬ

筋 すぢ

瑞 ずぬ

水 すぬ

藥 花のすぬ すぬ

條 すぢ すぢ

隨 すぬ

睡 すぬ

末 すぬ

數 すう

翠 すぬ

粹 人の すぬ

季 子の すぬ

文章假字用格卷四

四十七 黄葉園藏

す 二言 三言

四十七

居

すゑ

吸

すひ

三言

芋萹

すひ

氣條

すひ

素顏

すゑ

醋漬

すづけ

吹田

すゑ

巢

すゑ

陶

すゑ

水

すゑ

蘇枋

すゑ

須藤

すゑ

菅井

すゑ

質直

すゑ

瑞夢

すゑ

救

すゑ

周淮

すゑ

筋目

すゑ

周防

すゑ

管生

すゑ

質扑

すゑ

水司

すゑ

漉

すゑ

假髮

すゑ

洲濱

すゑ

居

すゑ

葉戸

すゑ

隨意

すゑ

衰微

すゑ

住居

すゑ

住

すゑ

酢和

すゑ

不覺

すゑ

四言

相撲

すゑ

素襖

すゑ

鈴木

すゑ

體

すゑ

陶

すゑ

楚

すゑ

坐

すゑ

透垣

すゑ

寸陰

すゑ

粹人

すゑ

水練

すゑ

瑞應

すゑ

筋違

すゑ

寸法

すゑ

水損

すゑ

西瓜

すゑ

菅原

すゑ

限月

すゑ

水道

すゑ

水囊

すゑ

隨縁

すゑ

則

すゑ

樞要

すゑ

翠簾

すゑ

衰老

すゑ

瑞相

すゑ

文章假字用格卷四

黄葉園藏

すひ ゑ み き

おらたろえ

三四五言

四十八

吹擧すひきよ 水牛すひぎ 睡眠すひん 水神すひじん

隨身すひん 水主すひぬ 隨食すひぎ 狴賓すひびん

活計すひぎ 生業すひぎ 繩墨すひぶ 任江すひえ

未廣すひひろ 陶すひの 居風呂すひ風呂 吸物すひもの

鈴虫すひむし 髻すひご 額髮すひがみ 前すひ

五言

諏方湖すひのうみ 駿河舞すひがまひ 簾貝すひれがひ

素浪人すひらうじん 醉中すひちゆう 推量すひりやう

醉狂すひきやう 垂跡すひしゆ 隨順すひじゆん

水晶すひくわう 醉妃紅すひひこう 旋復花すひくわん

玲瓏すひりやう 還魂紙すひこんし 角帽子すひかくぼうし

角田川すひかくたがわ 末遂すひすい 末方すひまつかた

忍冬すひにんとう 雀形すひせきやう

六言

違道すひだう 數年巧すひねんこう 水剋火すひくわ

水仙花すひせんか 醋饅すひじゆう 末摘花すひまつひな

萬葉すひ 紅花すひ 文章假字用格卷四すひ

黄葉園藏

七言

隨空轉用 すゐをこてんよう

臨機應変をこてん
たぐひよう

醉狂人 すゐをきやうじん

箭頭草 すゐをとうぞう

雙六石 すゐごろうのいし

末松山 奥州の名所
すゐのまつやま

八言

少納言 すゐのものがたり
職名

惜寸陰 すゐのひとときを

寸善尺魔 すゐぜんせきま

隨緣真如 すゐえんしんじゆ

素盞烏尊 すゐのすめみこと
神号

九言

翠帳紅閨 すゐのちやうこうけい

水火氷炭 すゐのくわいたん

文章假字用格卷之四大尾

文章假字用格卷四⑤九言

黄葉園藏

Blank page with faint bleed-through text from the reverse side.

自跋

昔ふとり用へてさあまのわたがういといふ
書はごまのあはまにたけと撰びし
あへどもやうりさふ理まひたふ事なは
まの音訓はごまにたけまはまの
静なる若く業乃書をたけと撰ふの
文よりはごまにたけまはまの
海よりおまのさうちあつとつれは
固乃たごまの事いふまうてまはまの
文章假字用格跋一

文章假字用格跋一

あは大人の絆ふりてらまきくまし人強くとあひ
 常きば大人乃日とこの言きけとまなれとらま
 ちし己まあきしと申しとらまばせんま
 ちしとやまぬつとく思ひうらふとらま
 もんく乃書どもまぬくつとらまからま
 あは申しよまきと母園の言乃とらま
 へ貴徳まづしひの言ひ古言抄字を言あ
 ひまどあれど古よらまき家のまあして母の申
 申常ふあたまに用く詞ども乃徳まほし
 長書のあるまはたらあうぬわさつとらま
 ぬ記多れうやまのの言人乃杖を使よらま
 且同じまきと且暮其車は熱う余亦その
 法よりあはらまは詞のあやまはまを撰ひ自
 てあの人乃申しにさひ訂しと漸よ此まあ
 今もあしと人車一のりまきと道はわ
 申しまほまへとらまのまはまはまはま
 ちまきたる事つとあまうらまおほし
 法まあむ人ち記あひと書様はりまきと

文章假字用格跋

五へうしき考一いっげん言ことの志あきらめをあけてあるはり
加くたらしき除ぞく後ごあらしきとするも予よがあらう
福ふくとらちらうらふ

庚寅仲秋

大藏永常徳

三都

京都寺町通佛光寺

河内屋藤四郎

江戸日本橋通壹丁目

須原屋茂兵衛

同 貳丁目

山城屋佐兵衛

同 貳丁目

須原屋新兵衛

同 中橋廣小路

西宮屋彌兵衛

同 芝神明前

岡田屋嘉七

同 大傳馬町貳丁目

丁子屋平兵衛

大坂心齋橋筋博労町

河内屋茂兵衛

書林

